

質問カードの回答 ~GHの入退去について 1~

01. GHに入居できない場合、他の入居先

~~本宅へ入居~~

GHに入居できない場合、(満室など)
他にも入居できる所はありますか？

障がいの状況によっても変わってきますが、既存のサービスの中では入所施設かグループホームがほとんどです。下記に手続きを書きましたが、計画相談を申込、担当職員と一緒に支援プランを作成されるところからスタートすることをおすすめします。

※GH：グループホームの略

02. GH入居の手続き、入居できないケース

グループホームへの入居を希望する場合、どのような手順・手続きが必要なのでしょうが、
希望しても入居できないケースがありますか。

1. すでに日中活動等で福祉事業所を使われている場合

⇒日中活動の事業所にまず相談してみてください

2. 何も福祉事業所を使っていない場合

①区役所の福祉保健センターにて相談支援の申込を行い、支給決定を受ける。

②インターネットの検索画面で「横浜市指定指定障害福祉サービス事業所等一覧」と入力し、事業所の一覧を入手して、計画相談の申込をする。

③計画相談の中で担当職員にGH入居を希望を伝え、担当職員と一緒に探す。

ただしGHに空きがあっても倍率はかなり高いと思ってください。何度も断られる覚悟も必要です。

※GH：グループホームの略

03. 自宅に戻られるケース

Q 共同生活を楽しく元気にしていると感じたから、中には共同生活を退学済みの方にいるのかな...?

Q 共同生活を退学済みの方にいるのかな...?

Q 共同生活を退学済みの方、回復された方が帰られるケースはありますか...?

Q 共同生活を退学済みの方、回復された方が帰られるケースはありますか...?

グループホームは何かご本人に問題があって入居されるわけではないので、回復してご自宅に戻られるという考え方はありません。

また、入居される方の多くはご家族の高齢に伴うことが多いので一度入居された方がご家庭に戻れるケースはほとんどありません。

ただし、ご家庭の事情で退居されることはあります。

04. 全介助の人の入居について

ほぼ全介助の知的障害者でグループホームに入居する方

知的な障がいだけであれば区分6の方が利用されている所もあります。けれども、支援者の数が施設に比べて少ないので必要な支援ができずお断りされることは多いと思います。

車いすを利用されていると数は極端に少なくなります。理由は、車いすの方が生活をするには居住空間が広く求められ、広くなると家賃等が高額になることや、その敷地の確保が難しいこと。また職員においては専門的な技術が求められることがあり、その育成が追いつかないことや夜間の勤務形態が組めないことなどが考えられます。ホームの職員は医療行為が認められていないので、その点からも新しいホームができないのだと思います。

質問カードの回答 ~GHの入退去について 2~

05. 65歳以上の方の利用について

◦ 個別訪問のグループホーム、来居の際は、個別に、どうもです。
 毎日の生活に、自立も可能に感じている。
 ◦ 調理室の利用
 ◦ 4人1室の個室、完全個室利用している。
 ◦ 介護職員がグループホームの中は、どうもです。職員がグループホームに
 来居している。
 ◦ 個人の部屋がきれいに片づいている。Y-Jは本人も来居している。
 風呂・トイレのY-Jは、利用中。
 ◦ 個人の部屋が清潔、光熱費、20,000ほど高いと思う。お金の差は、
 2万円ほど。
 ◦ 65歳に居るグループホームは、出ていけるのか？
 ◦ 生活費は、2万円ほど（1ヶ月）

利用において年齢制限はありません。ただし、加齢に伴う生活の変化や専門的な介護が必要になった場合などは、責任を持ってその方に最適な生活場所を紹介させていただくことはあります。

また、介護保険との関連も課題となっています。介護保険が適用される年齢になったからといって介護保険の施設に移らなければいけないという決まりもありません。ご本人にとって障がいと高齢、どちらのサービスが相応しいかという視点で考えます。

ただし、自治体によっては介護保険を強くすすめるところもあります。

06. GHに入居する前に準備すること

◦ グループホームに入居する前に何かの準備をしなければいけません。
 ◦ どのタイミングでグループホームに入居することになるか。

グループホーム入居にあたり、特に準備することはありません。けれども、早い段階から、ご家族と離れて生活する機会は頻りに作っておいた方が良いでしょう。グループホームは個別の支援になりますが、集団生活であることには違いありません。いろいろな方とお付き合いをして誰とでも生活できるようにしておくことでグループホームで生活を始めた時に楽だと思います。

※GH：グループホームの略

07. 入居の経緯

◦ グループホームに入居する前に何かの準備をしなければいけません。
 ◦ どのタイミングでグループホームに入居することになるか。

GHを運営している事業者によっても違います。日中事業をすでに運営されているところでは、その中でGHを必要とする方が一定数集まった頃から準備を進める場合と、GH等を複数運営している事業者が事業拡張でGHを新設された場合は入居者全員が公募になります。ただし、公募については大々的に発表することはなく、口コミがほとんどです。

また空きが出たときも同様に口コミが多いですが、区の自立支援協議会を通じて関係団体に周知されることが多いので、所属の事業所等にGHに入居したい旨を伝えておくことで良いでしょう。また、福祉保健センターの紹介で入居される方もいらっしゃいます。

※GH：グループホームの略

08. 精神のGHの空き状況について

◦ 精神GHを希望する。現状空きはありますか。(どのタイミングで)。
 ◦ 入居する条件はありますか。

新しい事業所ができなければ空きはないと思います。日ごろからかわりのある、事業所もしくは担当のケースワーカーに希望を伝えて情報を得ることが必要です。

今後の状況を福祉局に問い合わせましたが、予算の関係があり、まだ正式に発表できないとのことです。

精神障がいの方のグループホームというより、そのホームの支援内容や、建物の構造が生活される方の希望に沿っているかどうかで探されるのが良いと思います。また、戸塚区内にかぎらず、日中活動とあわせて生活圏を広げることによって選択肢は増えていきます。

絶対に譲れない条件と、妥協できる範囲をはっきりさせておくことで良いでしょう。

※GH：グループホームの略

質問カードの回答 ~GHの入退去について 3~

09. 入居者の年齢制限

入居の年齢制限(条件)はあるか?

グループホームから仕事に掛ける人(何歳?)

年齢制限はありません

10. 入居者の年齢制限

GHに入れる基準は? いつまでいられるのか?
収入、必要外費 = こすかいは足りているか?
将来へのたくわえは?

入居基準についてですが、公には決められていません。ただし、グループホームによって支援内容や設備によって基準が決められています。また、その時の空き室状況によっても基準が変わることがあります。

例えば、トイレ・入浴の自立、ひと月の宿泊数の上限、2階しか空いていない時は、階段の歩行が安定しているなど。

※GH：グループホームの略

11. いつまでいられるか

GHに入れる基準は? いつまでいられるのか?
収入、必要外費 = こすかいは足りているか?
将来へのたくわえは?

利用において期限はありません。ただし、加齢に伴う生活の変化や専門的な介護が必要になった場合などは、ふさわしい支援ができる場所を紹介し引っ越しをしていただくことがあります。

例えば、24時間の医療的な処置や介護が必要であったり、入浴の際に複数の職員による身体介護が必要になった場合などが考えられます。

ただし、一律の決まりはありません。

12. 定年後の生活

◎ 企業で定年を迎え(収入がなくなる)時、グループホームでの生活はどうですか?
(退職引当金はありますか?)
障害者年金だけでグループホームでの生活を続けられる?

定年を迎えられてもグループホームを退所しなければならないことはありません。

年金だけで生活が難しくければ、生活保護を利用して生活していただくことをおすすめし、そのお手伝いをさせていただきます。

質問カードの回答 ~GHの入退去について 4~

13. 入居者の動機について

・急病で、日中支援に通所できない時は、どうしていますか。

・利用者本人は、~~グループホームに入居したいとは思っていません。~~

① どうして、グループホームに入ろうとしたのですか？

② 入居時、不安なことはありますか。

③ どんな世話人さんが好きですか。

幾つかのホームの入居者に聞きました

- ・入所施設から引っ越し
- ・児童施設にいて18歳になったので入居した
- ・家族からのすすめ、希望
- ・お母さんに言われた
- ・お母さんが大変だから
- ・両親が他界して一人になってしまった
- ・一人暮らしがしたかった
- ・親と離れて暮らしたかった
- ・友だちが先にグループホームにいた

14. 入居時の不安について

・急病で、日中支援に通所できない時は、どうしていますか。

・利用者本人は、~~グループホームに入居したいとは思っていません。~~

① どうして、グループホームに入ろうとしたのですか？

② 入居時、不安なことはありますか。

③ どんな世話人さんが好きですか。

幾つかのホームの入居者に聞きました

- ・家が変わってしまうこと
- ・もう帰れなくなるのかなと思った
- ・おこづかいがもらえるかどうか
- ・友だちとケンカしないか
- ・仲良くできるか
- ・どんな人がいるのか？

遷延性障害の方の場合

13. 入居のきっかけ

生活場所の選択肢が自宅か病院しかない。自宅での生活は両親の高齢化に伴い難しくなり、病院は治療が終わってしまうと自己負担が大きすぎる。また、吸引や胃ろう等の処置が必要になるため、個室の利用をすすめるられることもある。

そのような経緯があり、グループホームを設立した。

14. 入居前のご家族の不安

- ・ご自宅でのケアと違い、複数のスタッフがかかるため、一定で安定したケアが受けられるかどうか。
- ・今後少しでも状態が改善できるかどうか。
例えば、胃ろうの状態であるが口から物が食べられるようになるか。また、歩けるようになるか、など。